

五感で感じる 宮城オルレ

徒歩旅行の旅「オルレ」が宮城でもスタート！
大崎市鳴子温泉で、特別なトレッキングを体験してみよう。

オルレとは？

韓国済州島からはじまったトレッキングコース「オルレ」。その魅力は、自然を身近に感じ、自分なりにゆっくり楽しみながら歩くこと。朱色と青色のリボンや矢印を目印に進みながら、壮大な風景や由緒正しい温泉、長い間築いてきた文化や歴史を、五感で感じること

オルレの楽しみ方

【歩き方】

- ・民家付近を通る時は、勝手に敷地内に入らない。
- ・住民や私有財産を撮影するときは、必ず同意を得る。
- ・歩きながら出会う人や地元住民と笑顔で挨拶を交わす。

【マナー】

- ・リボンを持ち帰らない。
- ・矢印などの標識は触らない。
- ・ゴミは必ず持ち帰る。
- ・道沿いの農作物、花や木は目で鑑賞する。



鳴子温泉駅 (ぼっぼの足湯)

鳴子温泉駅にある「ぼっぼの足湯」は、歩き疲れた足をいたわり、ゆったりできるスポット。

ゆめぐり広場(手湯)

気軽に温泉の湯ざわりが楽しめる「手湯」と回廊を備えた、鳴子温泉駅近くの広場。



鳴子温泉神社

この神社より温泉が湧出し始めたのが、鳴子温泉のはじまりとされている。

大崎・鳴子温泉コース

◆距離:10km ◆所用時間:約4時間 ◆難易度:初級

鳴子峡から俳人・松尾芭蕉などが歩んだ奥の細道を通り、足湯がある鳴子温泉駅までの約10kmのコース。鮮やかな新緑の春から、美しい紅葉に染まる秋まで、四季折々の風景や名所旧跡、温泉街の風情と暮らしに触れられる。

尿前の関跡

松尾芭蕉とその弟子の曾良が、厳しい取り締まりを受けた仙台藩の番所。



日本こけし館 (鳴子公園内)

東北各地のこけしを展示。こけしの製作実演や、絵付け体験ができるコーナーもある。



奥の細道

松尾芭蕉ゆかりの道。俳聖芭蕉の足跡を慕い、訪ねる旅人が絶えない。



凡例

- P 駐車場
- S スタート
- オプションルート
- F フィニッシュ
- 神社
- トイレ
- 案内所

